



証券コード：7995

株主の皆さまへ

2024年3月期(第124期)

バルカーレポート

2023年4月1日 ▶▶ 2024年3月31日

Value & Quality

THE VALQUA WAY

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正々堂々と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2024年3月期（第124期）バルカーレポートをお届けします。

当期におけるグローバル経済は、新型コロナウイルス感染症によって受けたダメージからの回復が相当に進んだものの、世界各地における地政学問題やインフレの進行等の影響もあり、当初の期待ほどには伸びない結果となりました。

わが国の製造業の生産動向においては、一部で明るさが見えたものの、全体で見れば必ずしも芳しくない状況となりました。

このような事業環境下バルカーは、足許の収益確保と収益性改善に向けた諸施策を迅速に実行したものの、当期の連結業績は前期比減収減益となりました。

しかしそのなかにあっても、以前から取り組んできた将来に亘る「健全で持続的な成長」を実現するための企業改革の効果がでており、今後に向けての礎を一定程度は築くことができました。

次期、2025年3月期に向けては、地政学問題、エネルギー・原材料の価格、インフレの進行などが世界全体の経済回復に向けた動きに水を差しかねず、またバルカー周辺においても、幅広い分野における設備投資の減速、半導体関連景況の本格的な回復の遅れ、原材料価格動向、労働力問題など、多くの不透明要素が存在しています。

それに対してバルカーは、2025年3月期を開始年度とする3か年中期経営計画NF2026で掲げた諸戦略の着実かつ迅速な推進により新たな価値を創造し、皆さまのご期待に応えてまいります。



2024年6月

シール製品事業

売上高 **37,160** 百万円

売上高
構成比 **60.2** %



事業概況

シール製品事業は、機器市場向けが自動車生産の回復等により増加したものの、先端産業市場向けは半導体関連景況の変動を受けて減少し、371億6千万円（前年同期比7.4%減）、セグメント利益は31億4千万円（同53.4%減）となりました。

今後の展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における業容を拡大するとともに、機器市場やプラント市場向けを含めてDXによる新たな顧客価値を提供し、収益力の向上を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **21,580** 百万円

売上高
構成比 **34.9** %



連結売上高
61,744
百万円

今後の展開

先端産業市場及びプラント市場向け戦略製品を軸にグローバルシェアの拡大とそれを支えるサプライチェーンの整備を進めるとともに、事業構造改革を推進し、収益力の向上を図ってまいります。

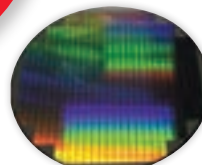
事業概況

機能樹脂製品事業は、販売価格の見直しの実施や、フッ素樹脂特殊タンク製品の先端産業市場とプラント市場向け拡大を反映し、売上高は215億8千万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は39億9千6百万円（同78.7%増）となりました。

シリコンウエハーリサイクル事業他

売上高 **3,002** 百万円

売上高
構成比 **4.9** %



事業概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業の需要は堅調に推移したものの、新規事業分野を含むH&S事業は開発費用が先行し、売上高は30億2百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント損失は3千4百万円（前年同期はセグメント損失9千9百万円）となりました。

今後の展開

シリコンウエハーリサイクル事業における品質の向上を通じた収益力の強化に加え、AI/ITソリューションの業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	当期 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
売上高	62,178	61,744
売上原価	36,440	36,438
売上総利益	25,737	25,305
販売費及び一般管理費	16,860	18,203
営業利益	8,877	7,102
経常利益	9,029	7,399
税金等調整前当期純利益	10,043	7,100
当期純利益	7,237	4,950
親会社株主に帰属する当期純利益	6,746	4,909

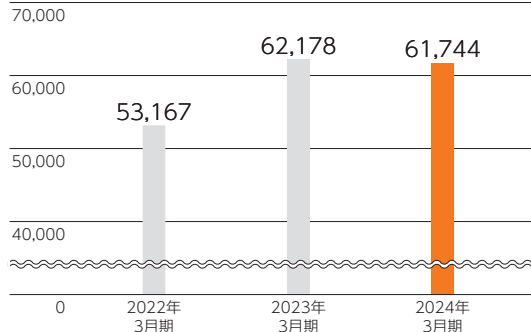
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2023年3月31日	当期末 2024年3月31日
資産の部		
流動資産	41,230	43,801
固定資産	27,276	30,686
資産合計	68,507	74,487
負債の部		
流動負債	16,591	16,560
固定負債	6,238	9,195
負債合計	22,830	25,755
純資産の部		
株主資本	41,926	44,048
その他の包括利益累計額	3,267	4,167
非支配株主持分	482	515
純資産合計	45,677	48,731
負債純資産合計	68,507	74,487

売上高

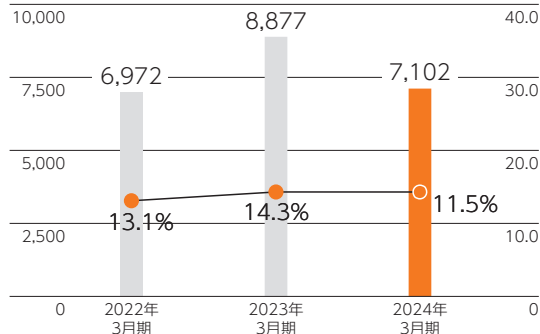
単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

単位：%



配当

	中 間	期 末	年間配当
2022年3月期	50.0 円	75.0 円	125.0 円
2023年3月期	60.0 円	90.0 円	150.0 円
2024年3月期	75.0 円	75.0 円	150.0 円

半導体装置部品に使用される“フッ素樹脂加工品”のデジタル調達サービス 「Quick Value[®]（クイックバリュー）」をリリース

バルカーは、フッ素樹脂加工品の図面をアップロードするだけで即時（原則2時間以内）に見積もりが得られる、フッ素樹脂加工品のデジタル調達サービス「Quick Value[®]（クイックバリュー）」をリリースしました。

■クイックバリューとは

クラウドにアップロードされた部品図面の加工情報を統計解析し、パートナーシップを結んだ加工会社の工場・加工データ（設備、加工種別、加工工数、納期）と組み合わせることで、図面毎に見積もりすることなく、価格・納期の最適な見積もりを即時提示するサービスです。また、納期においても自社の工程負荷状況に応じた日数が自動で算出されます。

図面データと加工データをAI・統計解析によるアプローチで組み合わせることで、人の経験に依存していた部品の調達・見積もり業務のDX化を実現します。



URL : <https://lp.quickvalue.jp/>

■開発背景

一 業界における課題

新型コロナウイルス流行や政治不安、稼働人員の減少などの影響でサプライチェーンが混乱し、調達部品におけるQCD（Quality、Cost、Delivery）のバランスが崩れたことを背景に、購買調達のDX化が期待されています。

製造業において、製造工程そのもののDXに比べて購買調達部門におけるDXは遅れをとっており、属人的で、手作業による業務が中心です。

なかでも、図面をもとにした加工部品の調達
は、部品形状や仕様、材質を把握したうえで対応
できる加工先の絞り込みをする必要があり、経験
豊富なベテランなど人に依存する部分が大きい業
務であるといえます。

一 半導体業界からの高いニーズ

近年の半導体業界の急激な需要拡大に伴って、
フッ素樹脂加工ができる工場の負荷が高まって
おり、さらにフッ素樹脂素材原料が不足してい
ることもあいまって、フッ素樹脂加工品の見積
もり業務の効率化、供給の最適化が大きな課題
となっています。

一 見積業務の高い負荷と業務ロス

メーカーが専用に設計した部品加工品を製造
する業態においては、今でも様々な課題・ニー
ズが残っております。部品の設計～調達～組立・
製造というサプライチェーンのなかで、購入元
である調達部門では「何千点～何万点もある図
面加工品の見積もり業務（委託加工先を探す・
比べる・選ぶ）を効率的に行いたい」というニー
ズがあり、一方の製造元である部品加工先でも
「設備が無く、そもそも加工できない図面の見積
依頼が多い、見積もりをしても相見積もりばか
りで2割程度（当社調べ）しか受注に至らない」
といった課題があります。

■クイックバリューで実現することと、今後の展望

これらの課題に対し、当社は、フッ素樹脂加
工品の図面をアップロードするだけで即時に見
積もりが得られる、フッ素樹脂加工品のデジタ
ル調達サービス「Quick Value[®]」（クイックバ
リュー）を開発いたしました。

当社は日本で初めてフッ素樹脂の工業製品化
に成功してから70年以上にわたり、製品を供
給してまいりました。クイックバリューに参画
するパートナー会社は当社の厳しい品質基準を
クリアしております。加工用の素材も様々な業
界で実績のあるバルカー バルフロン[®] PTFE^(※)
を100%使用し、半導体装置部品など高いレ
ベルの要求仕様にも品質を保証します。

今後は、他素材への展開も予定しており、各
設備に応じた素材や部品の形状の対応可否や納
期など、より細かく自動・即時見積もりを展開
してまいります。

(※)バルフロン[®]は、バルカーが1952年に販売を開
始したフッ素樹脂製品の商品名。バルフロン[®]製
品は世界中の半導体前工程プロセスの工場で薬液
の貯蔵タンク、薬液搬送のための配管及びバル
ブ・ポンプ部品、半導体の製造装置内部の薬液が
触れる部品、高いクリーン度が求められる部品に
使用され、多数の納入実績があります。

会社の概況 (2024年3月31日現在)

社 名 株式会社バルカー
(英文表記 VALQUA, LTD.)

創 業 1927年1月21日

設 立 1932年4月8日

資本金 13,957百万円

発行済株式総数 18,688,733株

株主総数 34,181名

従業員数 423名 (連結 1,670名)

役 員 (2024年6月20日現在)

取締役

代表取締役会長
C E O 瀧澤 利一

代表取締役社長
COO兼CWO 瀧澤 利治

取締役副会長 本坊 吉博

取締役副社長
C D O 中澤 剛太

取締役 (社外) 関根 近子

取締役 (社外) 齊藤 三希子

取締役 (社外) 沓澤 浩也

監査役

常 勤 監 査 役 高 昭夫

監査役 (社外) 高橋 秀法

監査役 (社外) 戸井川 岩夫

CEO: 最高経営責任者
COO: 最高執行責任者
CWO: 最高ウェルビーイング責任者
CDO: 最高デジタル責任者
CCO: 最高コンプライアンス責任者

執行役員

上席専務執行役員 櫻井 慎也

専務執行役員 青木 睦郎

専務執行役員 椿山 善昭

専務執行役員 神田 大輔

常務執行役員 小川 禎

常務執行役員 C C O 谷田部 麻美子

常務執行役員 植木 聡

常務執行役員 伏屋 克俊

常務執行役員 小野 幹仁

執行役員 立田 寛

執行役員 野邊 淳嗣

執行役員 今井 将廣

執行役員 後藤 智子

執行役員 門脇 貞幸

執行役員 村上 良太

執行役員 能勢 正章

執行役員 川上 孝弘

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
及び特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 電子公告
<https://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <https://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。